

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT Windows クライアント 7.2 SP3 Update1 リリースのお知らせ

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) Windows クライアント 7.2 SP3 Update1 を 国内リリースする運びとなりました。以下 その内容につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- Reflection for Secure IT (RSIT) Windows クライアント 7.2 SP3 Update1

[注1] : 7.2 SP3 Update1 リリース後も、7.2 SP3 は製品サポートライフサイクル上「Current」扱いになります。

[注2] : RSIT 製品間で最新バージョンが相違しますが、相互接続性や同一 Windows 機へのクライアント/サーバ製品の混在導入については、従来通り問題ありません。

2. 7.2 SP3 からの主な変更点

2.1 サポートプラットフォーム : ~変更はありません。

- 詳細は、下記サイトを参照下さい。

Technical Note 1944 : 「Reflection for Secure IT Client and Server Supported Platforms」
<<http://support.attachmate.com/techdocs/1944.html>>

[注3] : Windows 8.1 サポートに関する脚注 * の説明 :

- RSIT Windows クライアント 7.2 SP3 リリース後に Windows 8.1 がリリースされたためリリース時点の出荷テストは未実施ですが、7.2 SP3 以降 Windows 8.1 はサポート対象です。

2.2 改善点

1) ファイル転送(sftp, scp) get 方向スループット改善

- 7.2 SP3 までは、接続環境 (SSH サーバ、ネットワーク等) に依存して、put 方向 (クライアント→サーバ) に比べ、get 方向 (サーバ→クライアント) のファイル転送スループットが低下する傾向でした。今回、内部受信処理動作仕様 [TCP/IP Nagle アルゴリズム] を効率重視から応答性重視に変更し、スループットを改善しました。

2.3 不具合対策

- 下記問題を対策致しました。

- 1) sftp コマンドラインにおいて、標準入力からのリダイレクト記述を利用したファイルからの接続先ホスト名、ユーザ名を取り込む機能が動作しない問題
- 2) sftp GUI 画面 (= "Reflection FTP クライアント" 画面) において、ローカル側/リモート側それぞれのフォルダ操作を繰り返していると GUI 画面プログラムが異常終了する問題

2.4 セキュリティの更新

[注4] : 下記2件とも、SSH 製品本来の ssh, sftp, scp を使用する限り問題となりません。

付属の汎用モジュール "Reflection FTP クライアント" において、あえて FTPS (FTP over SSL/TLS) を選択し、更に TLS 1.2 を選択し使用する場合に限り該当する脆弱性です。

- 1) CVE-2014-0160: 「OpenSSL Heartbleed 脆弱性」対応
- 2) CVE-2013-4353: 「OpenSSL ssl3_take_mac 関数におけるサービス運用妨害 (DoS) の脆弱性」対応

3. 入手方法 ～ 対象：ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様

- ・「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし、ダウンロード入手下さい。

<手順>

- 1) 「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトへ下記いずれかの方法でアクセス：
 - a) 直接 URL “<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>” を入力
 - b) ホームページ“<http://www.attachmate.jp>”から [サポート]>[ダウンロードライブラリ]と選択
- 2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページにて、“ユーザ名”/“パスワード”を入力
- 3) 「保守の内容」ページにて対象製品の“ダウンロード”をクリック
- 4) 「Reflection for Secure IT Windows Client」ページにて対象“ファイル名”をクリック：
～“Current Product Release” (バージョン：7.2) 表と、“Service Pack or Patch” (バージョン：
7.2 SP3 U1(7.2.3222)) 表が存在。後者ファイル名“rsitwincli-7.2.3222-update-w32.exe”が対象
- 5) 「ファイル情報とダウンロード」ページにてダウンロード操作：
～“ソフトウェアライセンス使用許諾契約合意”をチェックの上、ファイル名をクリックします。

4. 導入について

- ・7.2 SP3 Update1 プログラム“rsitwincli-7.2.3222-update-w32.exe”は、上書きパッチ形式のインストールプログラムです。

事前に 7.2 又は 7.2 SP1/SP2/SP3 を導入している環境に上書き適用します。

新規導入の場合には、まず 7.2 本体を導入し、次に 7.2 SP3 Update1 を上書き適用します。

5. 日本語マニュアルについて

- ・『RSIT Windows クライアント バージョン 7.2 SP3 ユーザガイド』を引き続きご利用下さい。

<入手先>：弊社テクニカルサポート FAQ No. 7130：

『RSIT Windows クライアント 7.2SP3 の日本語ドキュメント』

<<http://attachmate.okweb3.jp/EokpControl?&tid=53917&event=FE0006>>

6. お問い合わせ先

- ・ご不明な点は、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

NetIQ 株式会社 Attachmate 事業部

E-mail：j-info@attachmate.com

以上